

第四回 南区まちづくり懇話会 議事録（要旨）

1. 日 時 平成27年9月29日（火） 午前10時～

2. 場 所 南区役所3階ホール

3. 出席委員

佐藤委員、清本委員、兼田委員、辻田委員、金子委員、上田委員、福原委員、
吉村委員、井村委員、赤松委員、岡委員（副会長）、宮本委員、田中委員（会長）、
金井委員、島田委員

4. 配布資料

- (1)－「会議次第」
- (2)－「委員名簿」
- (3)－「【資料1】区民アンケートの分析結果について」
- (4)－「【資料2】平成28年度南区まちづくり推進事業の方向性について」

5. 次第

- (1) 開 会
- (2) 議事 ①区民アンケートの分析結果について
②平成28年度南区まちづくり推進事業の方向性について
- (3) 意見交換
- (4) その他
- (5) 閉 会

6. 議事録

会 長 今日では第四回ということで、次年度の予算を考えていく上で大切な回になる。今年では南区のまちづくりの中間評価の時期になると思っているので、今日は皆さんから沢山のご意見をいただくため、議事については簡潔にすませたい。まずは、区民アンケートの分析結果について私から説明する。

(区民アンケートの分析結果について説明)

次に、議題2の平成28年度南区まちづくり推進事業の方向性について、事務局から説明する。

事務局 (平成28年度南区まちづくり推進事業の方向性について説明)

会 長 簡単に説明があったが、南区まちづくり事業予算については、平成27年度と同様に「情報受発信」、「人材育成」、「テーマ」、「地域別」の4本柱をもとに考えている。まちづくり懇話会の委員さんは地域別とテーマ別にそれぞれ出席していただいている。同じように事業の推進についても、テーマと地域で分けていて、その二つに共通することとして、まちづくりは同じ人ばかりが出てきているから、もっと若い人や子ども達に参加してもらう必要があるよねということで人材育成、また外向けに南区をアピールすることが大事なので情報受発信が出てきている。優先順位としては「情報受発信」、「人材育成」、「テーマ」、「地域」の順になるかもしれないが、全体の4本柱の組み立てとしてはテーマと地域が母体となっている。予算は南区役所で作成するので、懇話会では予算についてのご意見をいただくことになる。もともと「人材育成」については、2本の事業しかなかったが、第1期の懇話会で議論した結果、平成27年度は5本の事業となっている。このように、懇話会では事業を増やすとかいう話ではなくて、どの柱が大事とかどういうことがたりていないとか大きな枠で議論してほしい。

副会長 アンケートについては、城南の基本目標の円グラフが一番興味深い。城南は歴史的な資源が沢山あるのに、基本目標では2が低い結果となるのか。もしかしたら当たり前にあるから関心が低いのかなと思ってみている。

会 長 天明だけ居住年数の傾向が他の地域と違うのはどうしてだろうか。サンプルに偏りがあるのだろうか。

A委員 若年層の割合が高かったのではないかな。一般的には居住年数が長い方が多いと思う。

会 長 天明は、地域活動についてはみなさんが参加されていて、良好な結果が出ている。

- B委員 「基本目標でどれが大切だと思いますか」という設問であれば、自分の生活に照らし合わせたときに「安全・安心」より「歴史・文化」をとる人はいないと思う。
- 会 長 では、そこは除いてみてみた場合、凸凹部分などに注目するとどうだろうか。
- 副会長 「子育て」についても凸凹部分がある。天明と城南が凹んでいる。
- B委員 回答した年齢層が高かったら子育てが終わっているのでは、低くなる。私も「歴史・文化」よりは「安全・安心」が大事だし、子育て終わっているのでは、「子育て」には○にできなかった。
- 会 長 では、年齢別に集計してみる。
- C委員 そういう意味では、アンケートをとるときに年代属性を同数でとれるようにすれば一般的な見方ができるのでは。そのためには、PTA 会議のときにアンケートを行うなど、とり方を工夫する必要がある。
- 会長 データはあるので、編集することはできる。世代別に出すこともできる。
- B委員 「南区の像」として捉えた場合と「自分の暮らし」として捉えた場合で、回答は全く変わってくる。今回は、どちらにもとれる設問だった。
- 会 長 そもそも「南区まちづくりビジョンを知っていますか」から始まった設問なので、ビジョンはこのままでいいのか。高齢化がすすんでいるので、そのために予算をかけるべきではないのか。新しい人口を獲得するために予算を使ったほうがいいんじゃないかとかいう議論のために行った設問だったが、聞き方が悪かったかもしれない。今後は気をつける。
- D委員 できれば、3 つくらいに年代を分けて色別に集計した方が課題が見えやすいのではないかと。20～30 代、40～50 代、60～70 代に分けるといいのではないかと。特に、20～30 代が住みたいと思えば、魅力があるということなので、そこを追求していくといいのではないかと。それと、会長が「地域格差」と言われたが、何をもち「格差」が出てきたと思ったのか。
- 会 長 悪く言えば「格差」だが、「個性」が出てきたと思っている。南区としては1 つだが、幸田・南部は中心地に近い。飽田・天明は農業地で海に近い。富合・城南は新規に熊本市に参入して、富合は区役所と新幹線があり、城南は地域のつながりが強いなどそれぞれ特色が出てきている。農業が盛んななどの共通点もあるので、それぞれの個性とまちづくり活動を結びつけていくのが大事。誰が何をするのかを議論していくといいのかなと思っている。地域資源は南

区全体として何があるのはわかっているが、人が見えにくい。いろんな活動をしている若い人とか年配の方でノウハウを持っている人とか無関心層が偏在している印象を受けるので、どういう風に結び付けていくかが課題。私は、得意分野を伸ばす方がいいと思っているので、城南に歴史教室をどんどんやってもらって、歴史だったら川尻だって負けてないよという感じで良い意味の競争がおこるといいと思っている。「格差」を「格差」と言わず、「個性」と言えるようになるといい。

D 委員 清掃活動に参加する人が多いのは、参加しやすいからだろうか。

副会長 比較的気軽に参加できるから。技術も何もなくても参加できるからではないか。

D 委員 参加したいのか、参加せざるをえないからか。

副会長 参加せざるをえないからもあると思う。

B 委員 公役を公の役ではなく、苦しい役と思っている方もいる。

C 委員 自治会の伝統的な行事として行われている地域と、幸田のように若い人・新しい人が多い地域の差が出てきているのでは。自治会のトップというか組織の力ではないか。一步進んで自らできるようになるとすばらしい。

副会長 どうすればあと一步抜け出せるかが問題

E 委員 おそらく家族の誰かは清掃活動に参加しているのではないかと。たまたまアンケートに答えた人が参加していなかっただけでは。天明は環境保全隊があるため、清掃活動には農家はほとんど参加する。天明が多いのは環境保全隊の力である。他の地域も家族レベルではほとんど参加しているのではないかと。また、市の一斉清掃は農家の繁忙期にあるので、南区の一斉清掃日を設けるのもひとつの手。田植えと稲刈りの時期をはずしてほしい。

C 委員 以前も意見したが、何でも熊本市で一斉にするのではなく、各区の特色を活かしたものを考えてみてはどうか。たとえば、南区は城南とかにすばらしいホールがあるので、それを活かしたコンサート・講演活動などの施策を考えてはどうか。

会 長 委員のみなさんは前向きな意見が多いので、やりやすい。今のご意見のように区の特色を出していくのが大事。6 地区が緩やかな連携を図っていけばよい。

C 委員 特に南区は特色があるので、いい意味でバラバラになってもよい。

- B 委員 この間、市公民館連合会の方が来られて、城南町も連合会に入らないかというお誘いがあった。市の補助金の 1 割を連合会に入れられないといけないし、年配の方が市の中心部まで会合に出て行くのは無理。せめて南区役所までならばという声があがる。何でも一極集中ではなくて、区ごとの連合会・集まりに変えていく方がいいのではないかと。情報交換したり、共有化をするときに市全体ではなく、区ごとの集まりを大事にすべき。
- C 委員 市公民館連合会は、現在市役所 14 階ホールで会合を行っているが、植木・富合・城南の公民館が加入されると、14 階ホールでは無理。今後は会場についても検討する必要が出てきている。加入していただくのはありがたいが、課題もあるので、B 委員の意見に賛成。県民体育祭についても、熊本市がずっと連覇しているが、当たり前。今後は区ごとに出場する時期にきているのでは。なんでもそう。成人式もしかり。
- F 委員 敬老の集いもだんだん参加者が少なくなっている。みなさん、高齢化で市の中心部までいくのは大変。地域の会場で開催すれば、みなさん参加されるのではないだろうか。
- 会 長 今やっているラグビーのワールドカップは、イギリスからはスコットランドやウェールズなど 4 つ出ているし、代表も 3 年以上住んでいれば海外の選手の参加も認められるなど、他のスポーツと違い地域性をかなり重要視している。確かに、熊本市全体としてやらなければならないときもあるが、地域でかたまった方が個性を出せるときは区ごとの集まりを重要視すべき。防災は広域ネットワークも地域防災も大事なので、全体と区ごとでそれぞれやった方がいいと思う。現在、市全体と区ごとの割合はどのようになっているのか。
- 区 長 たとえば、交通指導員については区ごとに分かれているが、その上に市の交通指導員の集まりがあり、そこでは各区の代表が集まり、情報交換を行い、イベントがあれば他の区から手伝いに行くなどの協力体制ができている。そういう形ができていれば、区ごとの課題も市全体としての課題も解決できると思う。先日も、市長との話の中で、熊本市が大きくなりすぎた中で区をつくった意味は何なのか、区長の役割は何なのかという話になった。私どもも同じ課題を感じているところ。
- 次 長 政令市になって、当時は民生委員協議会は熊本市として 1 つしかなかったが、今は分かれている。一つでやるよりも、区独自の民生委員さんの活動に活かされていて、実態として効果が高いと思っている。
- 会 長 おそらく、いろんな分野で市全体でやったほうがいいことと区でやったほうがいいことがあって、行政の方はそれがわかっていると思うが、市民のみなさんには見えにくい。
それをわかりやすくする工夫が必要。一度事務局で整理してほしい。区で

きることは区でやるということを積極的に考えていくことも課題としたい。

B 委員 特例区の間は城南町で成人式を行ったが、今年度から熊本市でやることになっている。南区でできないかという意見を出したが、市長も議長も 1 人しかいないので、無理と言われた。小学校の運動会も町長が 3 年ごとに 3 つの小学校を回っていたし、区長もいる。子どももたちが南区の成人式に参加するかどうかはわからないが、区ごとに成人式を実施したい。ぜひ南区から始めてほしい。成人式が無理なら「成人を祝う会」でもいい。

A 委員 先日の「天明の市民のつどい」については、市長に案内文を出したため、区長が代読という形になった。来年は区長にご案内をしたいと思っている。

会長 今までやれなかったことが区でやれるようになるかもしれないので、どんどん意見を出してほしい。成人式も地元でやるのもとてもいいと思う。それが南区の特色になる。

副会長 各地域で独自で成人式をされているところはあるか。

F 委員 富合は昨年度から自治協議会主催で実施している。

G 委員 富合は中学校を卒業するときも「成人式で会おうね」が合言葉になっている。小中一貫ということもあり、みんな楽しみにしている。

副会長 川尻も地域で 50 年にわたって成人式を実施している。小学校単位・中学校単位でもできるのではないかな。これから、「南区のまちづくりの〇と×」というテーマで話し合いをお願いしたいが、まちづくりの観点から南区の良いところと悪いところをあげてほしい。今回のアンケートでも「豊富な農水産物」が南区の魅力として出ている。

H 委員 飽田・天明・富合・城南の旧町は農業主体だが、どこでどういう農産物がつくられているかは区民の方は知らないのでは。

副会長 商業関係で厳しい意見があったが、どう思うか。

I 委員 天明は商業施設が少なく、高齢者は苦勞している。しかし、最近サルビー跡地にコスモスと生鮮食品のお店ができた。サルビーは送迎があったが、今はない。

副会長 たしか、富合も買い物が厳しいという意見が出ていた。

F 委員 富合にもサルビーから送迎が来ていたが、今はないから高齢者は苦勞している。

- B 委員 区役所の「ゆうゆうバス」についても区役所だけでなく、買い物ツアーでお店も回れば利用者は増えたと思う。
- 副会長 今のように×もどんどん言ってほしい。
- 会 長 南区で「まち歩き手帖」が 3 年続いているのはひとつの大きな成果。歩いて楽しい場所が多いというのは南区の魅力。川尻とか雁回山とか田園地帯とか、風景がとても絵になる。
- B 委員 台風のアとの雁回山の登り口は大丈夫か。
- 区 長 整備した。
- B 委員 合併してから、御幸の方に行く新しい道とか市道の草刈がきちんとできていない。地元のボランティア頼みなのかなと思う。
- G 委員 高校生が交通ルールをきちんと守って、自転車で 3 号線を左側通行をしているが、雑草がすごくて手をケガしてしまうことがある。「安全・安心なまち」の一環としてきちんと整備してほしい。
- C 委員 生垣がはみ出していて、2 車線が 1.5 車線くらいになっているところもある。
- J 委員 生垣については、空き家問題にもつながる。主任指導員の活動も区ごとの活動に変わってきている。成人式も中央区に行けばいろんな人に会えるかもしれないが、地域でこじんまりとやったほうがいいと思っている子もいる。お祝いは何度やってもいいし、地域でやることによって、「やっぱり地元に住みたいな」という気持ちに繋がるのではないか。
- 副会長 川尻は 1 月 3 日にやっている。
- D 委員 「自然を活かした地域連携事業」はとてもいい事業で、今年お手伝いさせてもらっている。今年は人事異動でスタートが遅かった。「アースコンシャス」から清掃活動のオファーが来たので、抱き合わせでペーロンを企画したが、実行委員会が始まってなかったなので、できなかった。水が使える時期に間に合わなかったなので、穴掘り大会になった。こういうイベントをオール南区でできるといいが、「川尻さん、勝手にしてくださいよ」みたいな雰囲気になっている。また、ギリギリになって事業をふられても困る。せっかく、こういういい事業ができていますので、うまくまわるようにしてほしい。各地域で協力して、南区全体がつながるような事業にしてほしい。
- E 委員 一部しか参加しないので、なかなか難しい。南区全体で動けるといい。

- C委員 要はキャッチコピーだと思う。「南区遺産」とか。
みなさんも天草に行くときに右側に行くと思うが、左側は行かない。世界遺産になって初めて行って驚いた。
南区も雁回山とか塚原古墳があるので、ツアーに補助金をだしてパックとして売り出すとか考えたかどうか。
- 副会長 自治会対象に研修も含めてツアーを考えるということか。
- K委員 植木の文化財は熊本市になった途端、廃止された。富合とか城南の文化財がどうなったかわからないが、無形文化財もかなりあったと思う。文化財の引継ぎがきちんと行われているかのどうかを心配している。今度、河尻神宮が無形文化財として指定を受けるための調査が始まった。
ここで何を議論しているかがよくわからなかったの、資料をみていたが、懇話会は2,000万円の使い道について議論する場なのか。また、まちづくりビジョンの図の中の懇話会から区長への同じ向きの矢印の提案が2つあるが、向きが逆ではないのか。まちづくりビジョンの目標年次は34年度だが、この場で何を議論するのかよく見えない。この図からは、懇話会はまちづくり推進本部からの提案について、議論する場に見えるが、どうなのか。
- 会 長 今、吉村委員からお話があったが、懇話会は区のまちづくり事業の方針を検討する場であって、具体的な施策をつくることはできない。個人的には、懇話会は区のまちづくりを決定する場でないが、いろんな意見やアイデアを提案する場になればと思っている。アイデアが採択されるかどうかは別として、「あの意見どうなっているの？」と議論していく場所であって、決定機関ではないが、とても大事な場だと思っている。いろんな地域・分野・年代の方が出席していただいていることが大事。南区の魅力についても、ストーリー性を持たせることが重要なので、大きな目標だけでなく具体的な個別の目標、たとえば子どもたちがどのように育っていくのかなどを議論することも大事。私は、子どもと一緒に南区について考えたいと思っている。子どもを巻き込んだ事業は未来がある。この間も天明の「親子ワークショップ」で「天明の子どもたちが『天明出身』ではなく『熊本市出身』と言っているのがさびしい」という意見があった。ぜひ、子どもたちのことを第一に考えてほしい。今年の夏は各中学校区で「親子ワークショップ」を開催したが、とても勉強になった。他の区では、「親子ワークショップ」を開催しているところはないので、画期的なことだと思っている。子どもたちの意見が聞ける区役所・懇話会であってほしい。次回は来年度の事業案が出てくるが、事業だけでなく、来年度・再来年度の南区のまちづくりについても考える場としていただきたい。